

いざというときのための防災グッズを紹介する生徒たち



知らないを知ろうにかえよう 市民協働事業「杉森高校防災フェス」

市民文化会館で1月18日、杉森高校防災フェスが開催されました。これは同校看護科が提案した「防災意識を日常生活に根づかせ、応急処置を適切に行う力を育成する」市民協働事業の一環です。当日は生徒たちが学んだ災害対策や防災グッズの活用方法、応急措置を学ぶ市民講座が行われました。平塚唯亜さん(3年)は「災害はいつ起こるか分からない。知らないを知る取り組みを広げたい」。田中七海さん(同)は「大切な命を救うため、今回の取り組みが行動するきっかけになれば」と話しました。

消防団員による消火活動



いざというときに備えて 三柱神社で文化財火災想定訓練

1月25日、三柱神社で文化財火災想定訓練が行われました。これは1月26日の文化財防火デーにあわせて毎年実施しているもので地元の住民や消防団、市消防本部、神社の職員など約50人が参加しました。訓練は同神社の境内から出火したと想定。消防団による消火や参拝者の避難誘導などを行い、訓練終了後は、消火器の使用法や住宅用火災警報器の設置の説明などが行われました。参加した地元住民は「火災に備えて、消火器や火災警報器の確認をしたい」と話しました。

約600人が集結し、力強くシュプレヒコール



安全で安心して暮らせる社会に 柳川市・みやま市暴力団追放総決起大会開催

暴力団のいない安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて1月17日、市民文化会館で暴力団追放総決起大会を開催しました。みやま市や柳川警察署と合同で開催する同大会へ約600人の市民や関係者が参加しました。弁護士による暴力団の手口と対処に関する講演や参加者全員でのシュプレヒコールを行い、暴力団追放の機運を高めました。松永市長は「平穏な暮らしや未来ある青少年を守るために暴力団のない社会を共に実現しましょう」と挨拶しました。

3年生は有終の美を飾り、1年生は3年生の思いをつなぐ



市出身の3人が全国で金賞受賞 マーチングバンド2大会で8年ぶりの快挙

1月13日、本市出身で大牟田高校吹奏楽部に所属する1、3年の生徒3人が第53回マーチングバンド全国大会での8年ぶりの金賞受賞を松永市長に報告しました。日本のマーチングバンド2大会の中編成部門に出場。全国から集まった14校が金賞を目指して日頃の練習の成果を競いました。石橋ゆきさん(3年)は「大会本番ではとても緊張した。たくさんの拍手や声援に支えられて、最後の大会を楽しむことができた」と話しました。



【上】白秋の遺影と共に沖端周辺をパレード
【下】短歌大会で佳作に輝いた大橋さん(左)と高橋さん(右)



勢いよく燃え上がる巨大やぐら



燃えるやぐらに健康などを願う 第26回両開ほんげんぎょう祭り開催

橋本町で1月18日、両開ほんげんぎょう祭りが開催されました。地域の無病息災や五穀豊穰などを願って平成14年から始まった同祭り。柳南中吹奏楽部による演奏や両開小児童によるもぐら打ち、ロックソーランを披露後、高さ6~8mほどの竹やわらで組まれたやぐら6基に点火。地域住民が持ち寄った正月飾りと共に勢いよく燃え上がるやぐらを見ながら、松本蒸治さん(78歳)は「今年は健康に気を付けて、英語に挑戦したい。みんなにとって良い1年になりますように」と祈りました。

1本を狙い、熱戦を繰り広げた中学生剣士



日頃の鍛錬を競う B&G海洋センター近圏中学生剣道大会

大和B&G海洋センター近圏中学生剣道大会が12月21日、市民三橋体育センターでありました。今回で20回目を迎える大会には市内外から18チーム、90人が参加。市内からは4チームが出場し、予選リーグを1位で通過した三橋中Aが、決勝トーナメントを勝ち上がり、3位と健闘しました。キャプテンの櫻木聖也さん(1年)は「1試合目は自分のやりたいことができなかつたけど、2試合目はしっかり準備して、狙ったところが打てた。練習の成果が発揮できた」と話してくれました。



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】市企画課広報広聴係 ☎0944・77・8425

詩 聖白秋の生誕を祝いたたえる 生誕祭や顕彰短歌大会を開催

1月25日、北原白秋生誕を祝い、たたえる事業が開催されました。生誕141年を祝うパレードは、午前10時30分に白秋生家前を出発。矢留小学校の児童が白秋の遺影を乗せた大八車を先頭に詩碑苑まで行進しました。同日の午後からは、市民文化会館で第55回白秋顕彰短歌大会を開催。選者の桑原正紀さんによる講話や講評、表彰式が行われました。出詠者数367人の中から市内の大橋拾子さん(垂見)と高橋将代さん(同)が佳作に入りました。